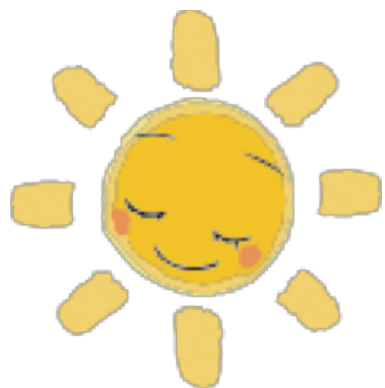


# 太陽の家

～きみを、あなたを、ひとりにしない～

～きみを、あなたを、ひとりにしない～



## 太陽の家

2015年11月に  
任意団体立ち上げ

### こども食堂（子どもたちへの無償の食事提供）

- 食事の無償提供
- 遊び、習い事体験など、体験イベント実施
- 勉強補助、学習支援

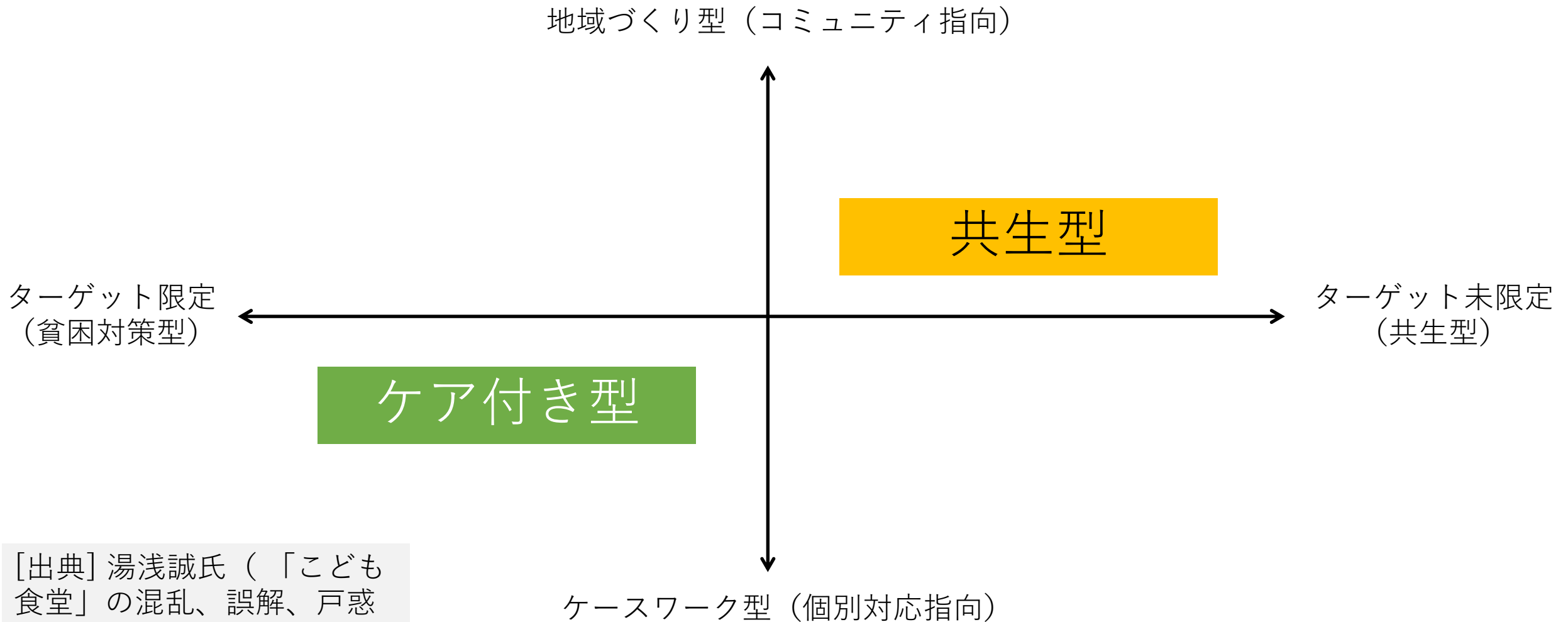
### シングルマザー支援の食事会・相談会

- ひとり親家庭の相対的貧困率は50.8%。重点的な支援が必要
- 助け合いの場、相談の場、支援機関への橋渡しの場として、多層的で継続的な支援を実現

### フードバンク（困窮家庭への個別食糧支援）

- 困窮度の高い家庭には、各家庭ごとに必要なものを個別にお届けし、より手厚い支援を実施

# 多様な子ども食堂



[出典] 湯浅誠氏（「こども食堂」の混乱、誤解、戸惑いを整理し、今後の展望を開く）を基に図表作成

# 共生型、ケア付き型 それぞれの特徴

## 共生型 ～広く、薄く～

- 多様な大人・子どもとの交流を通じた多様な価値観の提供ができる
- 地域づくりにつながる
- 地域の人々の理解を得やすい
- スティグマ（恥の意識）がつきにくい
- 地域の多様な人たちの気づきのアンテナが高まる

## ケア付き型 ～濃く、狭く～

- 専門家が一人一人の子どもを丁寧に見られる
- 子どもと一対一のより深い信頼関係を築ける
- 子ども及びその家庭の課題解決に繋がりやすい
- 他の相談機関等との連携がしやすい
- 迂闊に子どもを傷つける大人によるトラブルなどが起こりにくい

[出典] 湯浅誠氏  
（「こども食堂」の  
混乱、誤解、戸惑いを  
整理し、今後の展望を  
開く）を基に図表作成

# 子どもたちを取り巻く環境

子どもの貧困率 13.9%(2015年)

児童虐待相談対応件数 133,778件 (2017年度)

小中学校のいじめ認知件数 397,545件 (2017年度)

小中学校の不登校者数 144,031人(2017年度)

物質面や体験が不足している子どもや、  
家や学校に居場所のない子どもが存在する

# 子どもたちに必要なもの

物質的な支援

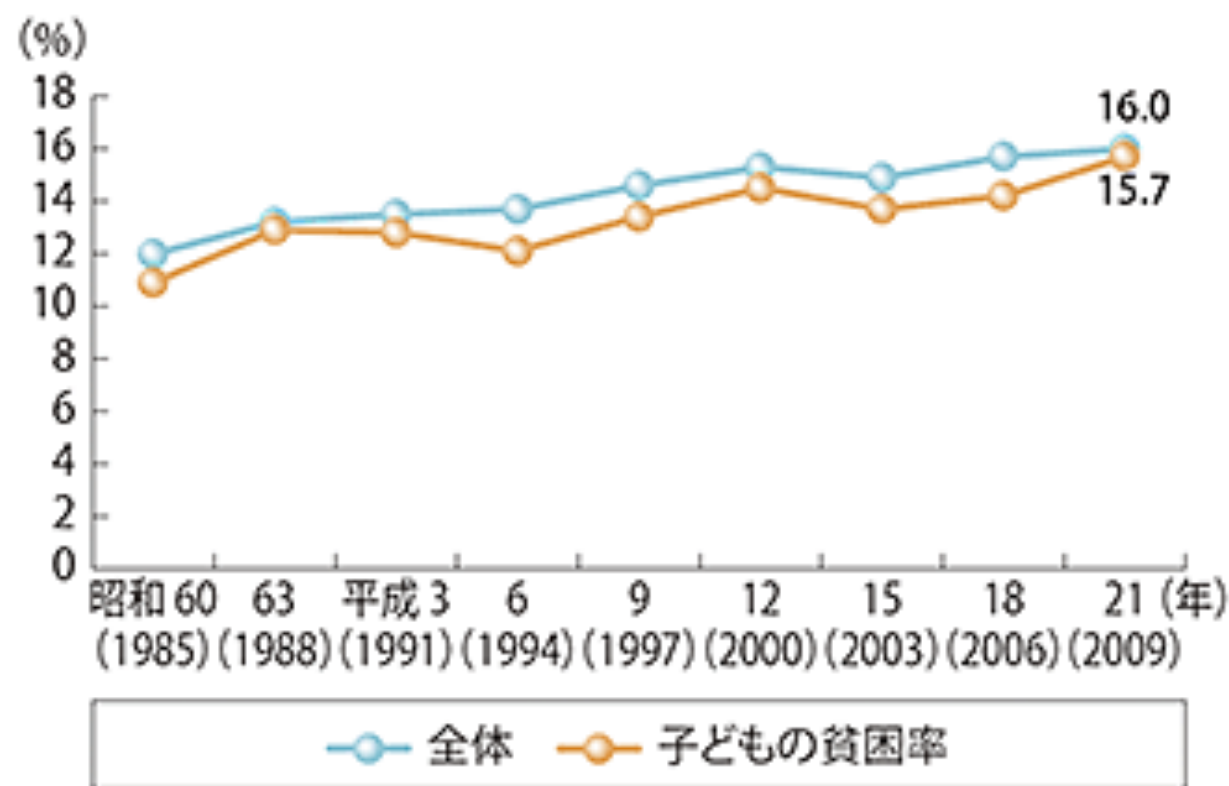
心の支え、豊かな体験

友達、頼れる大人

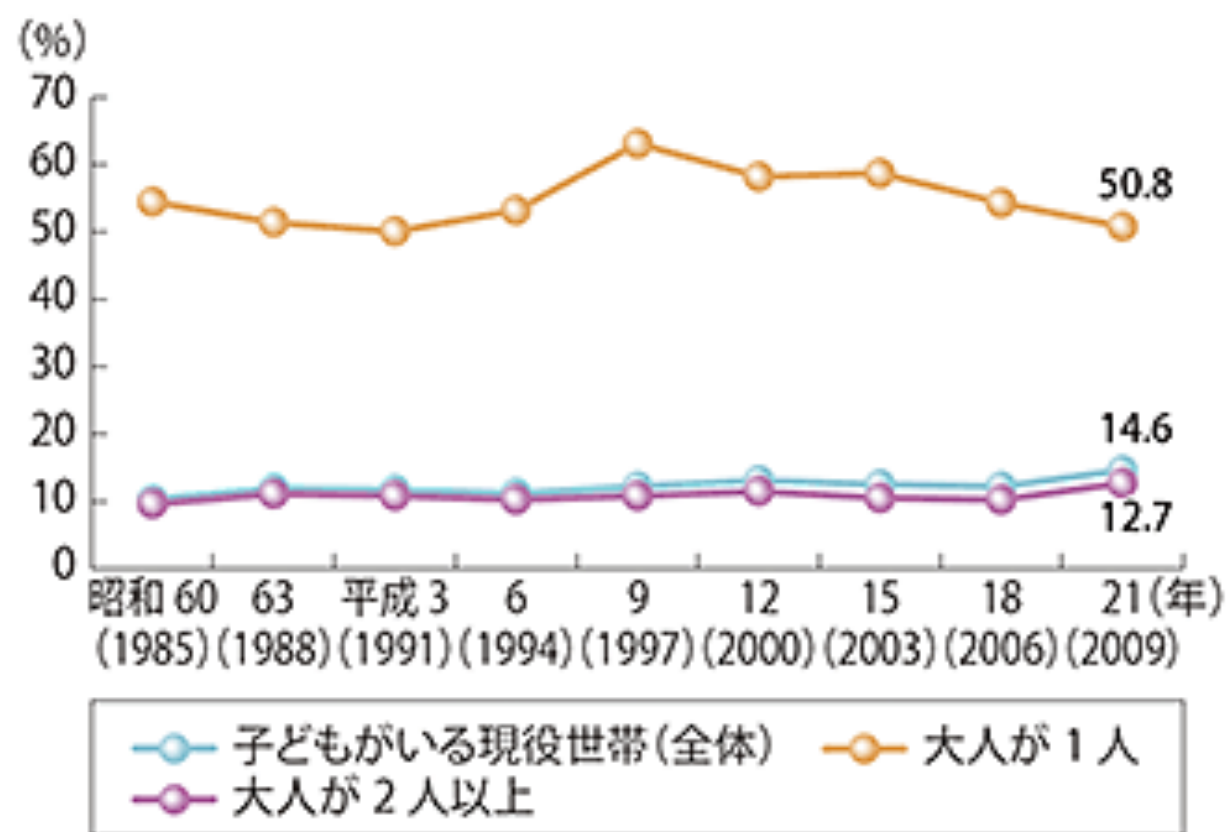
安心して過ごせる居場所

# 子どもの貧困率

## (1) 子どもの貧困率



## (2) 子どもがいる現役世帯の貧困率



(出典) 厚生労働省「国民生活基礎調査」

(注) 1. 相対的貧困率とは、OECDの作成基準に基づき、等価可処分所得（世帯の可処分所得を世帯人員の平方根で割って調整した所得）の中央値の半分に満たない世帯員の割合を算出したものを用いて算出。

2. 平成6年の数値は兵庫県を除いたもの。

3. 大人とは18歳以上の者、子どもとは17歳以下の者、現役世帯とは世帯主が18歳以上65歳未満の世帯をいう。

4. 等価可処分所得金額が不詳の世帯員は除く。

# ひとり親家庭の状況

	母子世帯	父子世帯
1 世帯数 推計値)	123.8 万世帯	22.3 万世帯
2 ひとり親世帯になった理由	離婚 80.8 % 死別 7.5 %	離婚 74.3 % 死別 16.8 %
3 就業状況	80.6 %	91.3 %
うち 正規の職員・従業員	39.4 %	67.2 %
うち 自営業	2.6 %	15.6 %
うち パート・アルバイト等	47.4 %	8.0 %
4 平均年間収入 母又は父自身の収入)	223 万円	38 0 万円
5 平均年間就労収入 母又は父自身の就労収入)	181 万円	360 万円
6 平均年間収入 同居親族を含む世帯全員の収入)	291 万円	455 万円

(出典) 平成 23 年度全国母子世帯等調査

※ 上記は、母子又は父子以外の同居者がいる世帯を含めた全体の母子世帯、父子世帯の数。

母子のみにより構成される母子世帯数は約 76 万世帯、父子のみにより構成される父子世帯数は約 9 万世帯。(平成 22 年国勢調査)

※ 「平均年間収入」及び「平均年間就労収入」は、平成 22 年の 1 年間の収入。



こども食堂を入り口として、  
より豊かな体験と、より深い支援につなげる

## 子ども支援

- こども食堂、居場所作り
- 学習支援
- 体験イベント

## 個別家庭の支援

- フードバンク
- シングルマザー支援
- 行政や専門家との連携

# 子ども支援団体の連携強化

みえ子ども食堂ネットワーク

子ども食堂立ち上げ支援・相談会

広がれ、こども食堂の輪！全国ツアーinみえ